



	ページ
● 町政の発展を託す14人決まる	2～3
● 岐阜広域合併に関する説明会開催	4～5
● 笠松春まつり盛大に	6～7
● 情報BOX	12～15

町政の発展を

託す14人決まる

新議員の紹介

※○の中の数字は
議席番号です。(敬称略)



⑬ 長野恒美
長池 618 の 4



⑭ 安達一愿
長池 104



⑨ 安田敏雄
円城寺 927



⑩ 太田俊彦
門間 309



⑪ 尾関洋治
桜町 75



⑫ 船橋義明
東陽町 12



⑤ 山川壽太郎
門前町 54



⑥ 伏屋隆男
無動寺 256 の 11



⑦ 山田 穆
東陽町 35 の 4



⑧ 岡田文雄
北及 1903



① 米山光義
門間 1655



② 川島功士
田代 458 の 1



③ 伊藤 功
田代 386



④ 田島清美
中野 183

就任のあいさつ

笠松町議会議長
安田敏雄

この度、議員の皆様のご推挙により、町議会議長の重責を担うことになりました。誠に身に余る光栄と存じ感謝いたしますと同時に、その責務の重大さを痛感している次第であります。

近年、国の行政改革に伴って地方分権時代を迎え、地方公共団体の住民参加による自主自立と主体性の発揮が期待されており、また、地方自治を取り巻く環境は大きく変貌し、行政改革や市町村合併などの大きな課題に直面しています。

住民の皆様には、日ごろから町政発展並びに議会運営諸般にわたり格別なるご支援、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

現在、岐阜広域合併協議会では、私たちの生活に直結する事項について協議を進めております。今年、将来を左右する合併に関して重大な意思決定が必要となりますので、更に積極的に協議を重ね、住民の皆様の信託にこたえることができるよう誠心誠意取り組み、このような大きな課題に直

面している中、議会といたしまして、住民の幸せを願いつつ、地方を取り巻く情勢を的確に見極め、町執行部と一体となり、誤りのない判断のもとに引き続き安心・快適なまちづくりの推進を目指して最大限の努力をいたす所存であります。

皆様方の一層のご指導、ご支援を衷心よりお願い申し上げます。私のあいさつといたします。

- ### 第三回 笠松町議会臨時会開会
- 四月一日、改選後初の町議会臨時会が開かれ、議長・副議長の選挙、常任委員会委員・議会運営委員会委員、同日設置された特別委員会（交通対策特別委員会・公共施設整備調査特別委員会・合併問題特別委員会）委員の選任および監査委員の選任同意などが行われました。
- 正副議長、各委員会委員および監査委員は次のとおりです。(敬称略)
- | | | | |
|-------------|----------|------|-------|
| 議長 | 安田敏雄 | 副議長 | 田島清美氏 |
| 【民生建設常任委員会】 | 委員長 山田 穆 | 副委員長 | 川島功士 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 長野恒美 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 安田敏雄 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 山川壽太郎 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 山田 穆 | 委員 | 岡田文雄 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 長野恒美 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 山川壽太郎 | 委員 | 山田 穆 |
| 委員 | 尾関洋治 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 安達一愿 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 安達一愿 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 安田敏雄 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 川島功士 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 長野恒美 | 委員 | 尾関洋治 |
| 委員 | 田島清美 | 委員 | 太田俊彦 |
| 委員 | 米山光義 | 委員 | 伊藤 功 |
| 委員 | 伏屋隆男 | 委員 | 船橋義明 |
| 委員 | 岡田文雄 | 委員 | 安達一愿 |
| 委員 | 安田敏雄 | | |

岐阜広域合併に関する説明会開催

岐阜広域合併に関する説明会（主催 岐阜広域合併協議会）が、四月六日中央公民館で開催されました。

はじめに細江岐阜市長が、地方都市の空洞化、高齢化が進む厳しい状況に対応するため、さまざまな文化や価値観を持ったまちが手をとり合い、自立できる自治体を目指す、合併への思いを語りました。

それに続き広江町長は、一つひとつの問題もさることながら、全体的な視点で協議を進めていることを説明し、合併に向かって町民全体の意思統一を図り、夢のあるまちづくりを行う決意を述べました。

そのあと、岐阜広域合併協議会事務局より、新市建設計画（案）や、住民サービス・負担等の協議結果の報告があり、参加者からは多くの質問や意見が出されました。主なものは次のとおりです。

合併協議 全体について

Q. 各種サービスの調整結果には岐阜市の制度に合わせるものが多いが、旧市町の特徴が失われることはないですか？

A. 各市町が行ってきたサービスの良いところを取り入れ、財政面も考慮し、将来的に継続していけるサービスになるよう調整していきます。

Q. 合併により笠松町から選出される議員は二人になると聞いていますが、現在の笠松町民の意見が反映されなくなりませんか？

A. 議員には旧市町の枠にとらわれず、地域ごとあるいは仕事の分野ごとの代表者として行政に対し発言してもらいます。また、都市内分権を進める中で



説明会であいさつする広江町長

旧市町の文化や伝統を守るシステムをつくるので、笠松町民の意見が反映されなくなることはありません。

各サービスや 施策について

Q. 障害者の授産所は、合併後民営化されるのですか？

A. 授産所をはじめ各施設の取り扱いについては、合併後直ちに民営化されるのではなく、それぞれの経緯や今後の方向性を見極めたうえで対応します。

Q. 下水道受益者負担金の徴収は納得できないのですが。

A. 合併においては公平性を図る必要があります。少しでも安い金額になるよう調整しているので、ご理解をいただきたいと思えます。

Q. 路面電車や市営バスなど、岐阜市の交通体系は今後どうなるのですか？

A. 市営バスは来年にも民間へ移管される予定です。路面電車について、名鉄の撤退後、岐阜市が引き継ぐことは、財政面の問題も含めて検討しています。

Q. 羽島市の新幹線の駅と高速道路のインターが新市の南の玄関となるという位置付けですが、ひかりが一日数本しか停まらない駅をどのようにして表玄関として整備するのですか？

A. 今後利用者が増えれば新幹線の停車本数も増えるので、皆さんの積極的な利用が必要です。

その他

Q. 岐阜市の産業廃棄物不法投棄は、合併後においても心配な問題ですが、どのように対応していくのですか？

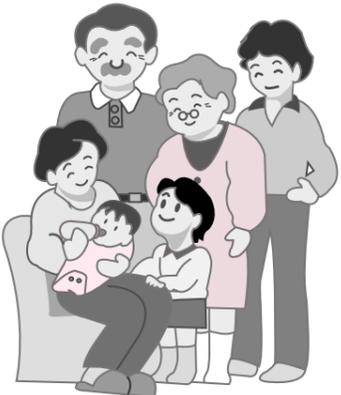
A. 現在、住民の安全を守るため、環境調査や原因究明に取り組んでいます。今後、国や県の協力も得て解決をしていきます。

Q. 今回の説明会の結果をどのように生かしていくのですか？

A. 説明会での意見は、今後の協議に反映させるとともに、広報などを通じて周知を図ります。

Q. 笠松町としての、今後の方針は？

A. 合併協議が全て終了してから、町民の皆さんに詳しく説明し、意識調査等を行い、意思統一を図る予定です。



合併問題の住民投票 実施についてのお知らせ

四月八日開催の町議会全員協議会において、広江町長は合併問題の住民投票実施についての考えを説明し、その後、町議会議員全員の了承を得ました。

町長の考え方（要約）

昨年の二月に、合併問題の方向性と枠組みを決めるため、住民説明会と全有権者を対象とする住民意向調査を実施し、町民の意向を最大限に尊重し、岐阜市を中心とする岐阜広域合併協議会に参加し、二市四町による広域合併協議会を進めて参りました。

合併協議会については、合併の基本四項目や乳幼児医療、下水道受益者負担金問題などの節目となる大きな問題も決定し、間もなく

全ての協議が終了する予定です。その時点で、住民説明会を開催し、全ての情報を開示するとともに、今回の市町村合併に関し、町民の皆さま一人ひとりが感情に流されたり、好き嫌いで判断することなく、冷静に将来を見つめ、総合的な判断を頂きたいため、町民の意向確認の方法としては、公平で公正、かつ、万人がその結果を認め合える住民投票の実施を考えております。



説明会であいさつする細江岐阜市長

笠松

春まつり

盛大に



「ワッショイ!!ワッショイ!!」の掛け声とともに練り歩く町内のみこし(11日)



大勢の人で賑わった「笠松陣屋市」(10日) 産霊神社境内での「ふれあい子供広場」で輪投げを楽しむ子どもたち(10日) 宵まつりでは電飾のみこしも登場!!(10日) オープニングセレモニーで勇壮な演奏を披露する笠松清流太鼓の皆さん(11日) 「新笠松音頭」を踊る婦人会の皆さん(11日) 人気アニメキャラクターの可愛らしい下羽栗の子どもみこし(11日) 天気の良い日には桜の木の下でお弁当をひろげたり、パーベキューをする人たちが賑わいました(桜まつり) 古式ゆかしい伝統芸能「大名行列お奴」(11日)



奈良津堤一带の「桜まつり」には、美しく咲きほころんだ桜を楽しむもと、天気の良い日には、大勢の家族連れや若者のグループが訪れました。
また、十日には「笠松陣屋市」が開催され、本町通り、新町通り、産霊神社周辺が歩行者天国となり、フリーマーケットや即売会などが行われました。
また夜には、産霊神社境内で「宵まつり」が催され、町内のみこしのあと、ものまねショーや抽選会が行われました。
春まつりの最終日の十一日には、朝から町内会自慢の本みこしや花みこしが町内に練り出し、

まつりムードを盛り上げました。
オープニングセレモニーでは、笠松清流太鼓で始まり、町内の保育所や幼稚園の園児の演技に続き、婦人会の踊りで盛り上がりました。
また、これに続き総勢二百人による笠松大名行列が行われるとまつりムードは最高潮に。お奴の毛槍の妙技に、沿道に詰めかけた大勢の観客から盛んな拍手が沸き上がりました。
なお、行列に先立ち行われた出発式で、(財)十六地域振興財団から同保存会へ道具保全に対する寄附(現金三十万円)の贈呈が行われました。

かさまつまちづくりイベント実行委員会主催の「笠松春まつり」が、桜まつりを皮切りに三月二十六日から四月十一日までの十七日間にわたって開催されました。

郷土の伝統芸能を 自分たちの手で守り伝える



全校生徒の前で堂々と演技する生徒たち

「大名行列お奴」全校生徒に披露

笠松中学校

四月十一日の春まつりで「大名行列お奴」に出演した笠松中学校の生徒六十二人が、翌十二日に同校体育館でお奴の演技を全校生徒の前で披露しました。

これは、「郷土の伝統芸能を自分たちの手で守り伝えていこう」と練習を重ねた生徒たちを中心に、学校とお奴保存会が毎年行う行事です。堂々と演技を披露し、活気ある掛け声とともに毛槍や台傘の投げ渡しに成功する度に見学の生徒や先生たちから盛んな拍手が起りました。



2年生
浅野 舞

練習では、手や足の動きが難しく、なかなか上手く踊れなかったけど、ベテランの人に教わりながら楽しく出来たし、本番へ向けて気合いが高まりました。当日、初めは少し緊張したけど、台傘を上手く飛ばせた時に、見ている多くの人が拍手をしてくれて、大変うれしかったし、今までの練習の成果が出せたと思います。また来年も、お奴に参加したいです。



3年生
葛谷元規

僕はお奴に参加して、本番に使う毛槍などが文化財でなく、一人ひとりの踊りが文化財であることを知りました。本番の時、槍の投げ渡しに成功すると周りのかたがたが温かい拍手してくれます。そんな姿を見ると、お奴を文化財として、伝統芸能として守り伝えようとする笠松町民の心を感じます。

●「大名行列お奴」に参加して…●



1年生
福田逸併

僕は、今年で大名行列お奴に参加するのは六年目になりました。鉄砲から始まり、とうとう小羽熊をやることが出来ました。しかし、昨年やった立傘とは重さが全々違い、初めは全々持てなかったのが、練習に行ける日は必ず行っていました。当日失敗しないように努力しませんでした。そして本番では一度も失敗しませんでした。また来年もお奴に参加してがんばりたいです。



本番当日、参道を埋めつくした観客の前で演技を披露する生徒たち

叙勲 瑞宝单光章

瀧花賢一郎 さん



危険業務従事者叙勲で、瀧花賢一郎さん(中野)が消防功勞で「瑞宝单光章」を受章、

五月十三日東京プリンスホテルで消防庁長官から伝達されます。

瀧花さんは昭和四十一年に笠松町消防本部の職員となり、羽島郡消防事務組合消防本部消防司令長を務めるなど、長年にわたり消防業務の振興に貢献されました。

自治功勞者表彰

自治功勞者表彰が行われ、四月八日に棚橋慎司さん(北及)、四月二十三日の小見山新四郎さん(中新町)へ表彰状と記念品が贈られました。棚橋さんは、多年にわたり町議會議員として町政發展に尽力されました。

また、小見山さんは、多年にわたり町内会長および町内会連合会副会長として町政發展に尽力されました。

県交通安全功勞者表彰

県交通安全県民大会が四月六日県庁で開かれ、その席上、県交通安全功勞者表彰が行われました。

この表彰は、多年にわたり交通安全思想の普及や交通事故

防止の活動に尽力された功績に対し贈られたもので、当町からは県警察本部長・県交通安全協会会長連名表彰 個人 の部で三口竹哉さん(新町)が受賞されました。

町内会連合会総会 自主防災会協議会総会

開催



総会であいさつする山田連合会長

平成十五年度町内会連合会・自主防災会協議会総会が三月十九日役場で行われ、両会の平成十六年度予算と事業計画が承認されました。

その席上、長年にわたって町内会長を務められ、自治組織の發展などに尽くされたかたへ広江町長から表彰状と記念品が贈られました。

また、総会終了後に広江町長から平成十六年度の町政について

の説明がありました。表彰された皆さんは次のおりです。

〔十年表彰〕

(敬称略)

村瀬勝彦 (美笠通一丁目)

中嶋 孝 (長池北)

〔五年表彰〕

伊藤芳廣 (西町)

仙石正和 (泉町)

三輪則之 (弥生町)

浅野武男 (春日・東陽・常盤町)

町内事業所への新就職者百二十二人を激励

町では、毎年町内の事業所に就職された新就職者のかたを激励しています。

今年も、十八事業所に町内外から百二十二人のかたが就職され四月十三日、広江町長が各事業所を訪問し、「一日も早く仕事に慣れ、地域社会に貢献で

きるよう頑張ってください」と記念品を贈り、激励しました。

新就職者のかたは、「地域と社会が一心同体となり、会社の繁栄が地域社会の發展に繋がるように頑張りたいと思います」など、新社会人として抱負を語られました。

附 寄

岐阜中央ライオンズクラブから三月二十五日、「青少年健全育成推進のために役立ててください」と、Eポート関連備品(ライフジャケットなど)の寄附がありました。町では、ご趣旨に沿うよう活用させていただきます。



広江町長から記念品を手渡され激励される新就職者

まち・人を守る使命を胸に 15人が新たに入団 町消防団入団式



岩田団長の前で宣誓する新入団員

町消防団入団式が四月十七日コミュニティ消防センターで団員および関係者約百三十人が出席し行われました。式では、広江町長から「町民の生命、財産を守るため、一日も早く立派な消防団員となることを期待しています」と式辞がありました。岩田団長からは、新入団員十五人と新役員へ辞令が交付され、日ごろの消防活動に対する労と「いざという時のために、訓練などに頑張ってください」との訓示がありました。

続いて、加藤県議会副議長、

安田町議会議長、山田町内会連合会会長から祝辞があり、団員は「防火、防災の誓い」を新たにしました。

新入団員は次の皆さんです。

(敬称略)

第一分団

田中勝也、大下城二、安田憲司、前川仁志、大野安律

第二分団

桑原茂嘉、山下孝之、馬場勝美、杉山和隆、墨 元就、横井孝明

第三分団

加藤登志和、岩井康哲、加藤泰教、上松士朗

上位入賞を目指し

県消防操法大会出場(予定)選手の結団式

八月一日、下呂市金山町で開催される「消防感謝祭」第五十三回岐阜県消防操法大会に出場する選手の結団式が四月十七日の入団式に続いて行われました。この大会は、消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図ることを目的に、県下の消防団か

ら三十三チームが出場して小型ポンプ操法で競います。町消防団は羽島郡代表として出場するもので上位入賞を目指し、大会当日までの七十五日間にわたり厳しい訓練を行います。出場(予定)される選手は次の皆さんです。

(敬称略)
石田輝雄 (第三分団班長)
田島良平 (第三分団班長)
松原直樹 (第三分団班長)
中子浩二 (第三分団団員)
田島一樹 (第三分団団員)
加藤央肃 (第三分団団員)
今尾公則 (第三分団団員)



出場(予定)される選手の皆さん

皆さん応援よろしくお願いします！！

選手一同、8月1日の大会に向け、現在笠松中学校グラウンドで夜8時30分から消防署員、団幹部のかたがたのご指導により訓練を実施しています。

羽島郡の代表として大会へ出場できることを誇りに感じ、またその責務を真摯に受け止め、全力で頑張ります。

皆様方の応援の程よろしくお願いします。

選手代表 石田輝雄(写真前列右端)

ジュニアオリンピックに出場



第26回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会が3月27日から30日まで東京辰巳国際水泳場で開催され、当町から堀江みゆきさん（北及）と村井翔さん（田代）が出場され、日ごろの成果を発揮され健闘されました。

町民バレーボール大会

4月18日（日）

町民体育館

優勝 田代中・西

準優勝 美笠通

3位 森田クラブ

” 南栄町



行政相談シンボルマーク



春の行政相談週間 5月17日～23日

お気軽にご相談ください「行政相談」

国の仕事やその手続き、サービスなどについて「こうしてほしい」、「困っている」、「分からない」ことなどはありませんか。総務省では、全国に行政相談のための窓口を設置しています。ここに寄せられたさまざまな声が私たちの暮らしの中で生かされています。

「行政相談」って
なんですか？

どこへ相談すれば
いいですか？

国の行政全般について国民の苦情や意見・要望を受け付ける「行政相談」。総務省では、受け付けた相談に対して、公正・中立の立場から関係行政機関などに必要なあっせんを行い、その解決や実現の促進を図るとともに、国民の声を行政の制度・運営に生かしています。

例えば、次のような内容の相談です。

- ・年金の支給が遅れているので困っている。
- ・国道の街灯などの設備が損壊しているので修復して欲しい。
- ・国の行政機関の窓口職員の対応が横柄なので嫌な思いをした。
- ・どこの行政機関へ相談してよいか分からない。

行政相談員

身近な相談相手として、全国で約5千人の行政相談委員が活躍しています。笠松町では、岩田修さん（宮川町57 ☎387・3718）が総務大臣から委嘱されており、自宅で随時相談に応じています。

行政苦情110番

総務省岐阜評価事務所（岐阜市金竜町5の13 岐阜合同庁舎 ☎246・1100）では、いつでも相談に応じています。

インターネット

インターネットでも受け付けています。

http://www.soumu.go.jp/hyouka/mail_uketsuke.htm

〈お問い合わせは〉

役場 南事務所 ☎388-1111
北事務所 ☎387-6266
福祉健康センター ☎388-7171
中央公民館 (町体育協会事務局) ☎388-3231

松枝公民館 ☎387-0156
下羽栗会館 ☎387-2360
総合会館 ☎387-8432
福祉会館 ☎387-1121
町社会福祉協議会 ☎387-5332

事業所・企業統計調査、商業統計調査、サービス業基本調査実施 企画課

6月1日現在で、全国一斉に事業所・企業統計調査、商業統計調査およびサービス業基本調査が実施されます。これらの調査は、事業所や企業の活動状況を明らかにするための重要な統計調査です。

調査対象は、商店や工場などが収入を得て働いているすべての民営事業所です。調査票は3調査を1枚の調査票でできるようになっています。

調査対象事業所へは、5月下旬から6月中旬までに調査員がお伺いしますので、ご協力をお願いします。

子育てサロン「親子で遊ぼう」を開催 子育て支援センター

子育て支援センターでは、皆さんの子育てを少しでもサポートしようと、お子さんとお母さんが遊びを通してふれあう場、また、お母さん同士の交流の場として、子育てサロンを開催します。

お気軽にご参加ください。

【月 日】5月14日(金) 【時 間】午前10時～11時

【場 所】松枝公民館和室

【対象者】3歳未満児とその保護者

【問合せ先】子育て支援センター (第一保育所内)

☎387・2664

町民ターゲット・バードゴルフ大会 町体育協会

【月 日】5月16日(日) ※小雨決行

【時 間】午前9時30分～ 【場 所】トンボ天国芝広場

【参加資格】町内に在住・在勤のかた

【種 目】▶一般の部 (60歳未満)

▶シニアの部 (60歳以上)

【申込期限】5月10日(月)

【申込先】町体育協会事務局 (中央公民館内)

町民ペタンク大会 町体育協会

【月 日】6月6日(日) 【時 間】午前9時15分～

【場 所】笠松中学校運動場

【参加資格】町内に在住・在勤のかた (1チーム3人) 1人でも出場可

【申込期限】5月28日(金)

【申込先】町体育協会事務局 (中央公民館内)

青少年海外派遣(グアム)参加者募集 企画課

町では、国際性豊かな青少年の育成を図ることを目的に、青少年海外派遣事業の参加者を募集します。

この事業は、現地学校の生徒との交流や野外自然活動などを通して、海外の文化や生活習慣を体験するものです。

【派遣先】グアム

【派遣期間】8月24日(火)～27日(金)

【募集人員】20人

【応募資格】町に在住している中学生・高校生

【助成額】研修費用の2分の1以内の額

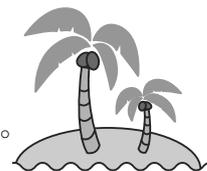
(限度額75,000円)

【申込期限】5月28日(金)

【申込方法】申込書(役場企画課にて配布、または町ホームページよりダウンロードできます)に必要事項を記入し提出

【申込先】企画課

※なお、ニュージーランド派遣事業については今年度は実施しません。



狂犬病予防注射と犬の登録 環境経済課

犬の飼い主には、狂犬病予防法で1年に1回、犬への予防注射が義務付けられています。また、生後91日以上の犬は生涯に1回の登録をしなければなりません。

これらを正当な理由がなく怠ると狂犬病予防法違反として罰せられることがあります。必ず注射や登録をしてください。

【狂犬病予防注射および犬の登録日程】

月 日	曜 日	会 場	時 間
5 / 17	月	松枝公民館	13:00～13:40
		中央公民館	14:00～14:30
5 / 18	火	役 場	10:00～11:30
		松枝公民館	13:00～14:00
5 / 19	水	下羽栗会館	10:00～10:40
		役 場	11:00～11:40

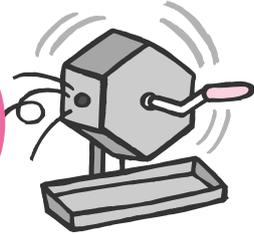
【料 金】・注射と注射済票交付 3,070円

・新規登録 3,000円

【注意事項】

- ・当日、予防注射前に犬の健康状態を簡単におたずねしますのでご協力ください。
- ・都合により町が実施する日に注射を受けられない場合には、動物病院で必ず受けてください。

体育施設の
利用抽選会



町民軟式野球大会

町体育協会

【月 日】7月4・11・18日(日)
 【時 間】午前8時45分～
 【場 所】勤労青少年運動場
 【参加資格】町内会単位で構成されたチーム(町内在住のかた20人以上)で1町内2チームまで
 【申込期限】6月4日(金)
 【申込先】町体育協会事務局(中央公民館内)
 ◎組み合わせ抽選会
 【月 日】6月11日(金)
 【時 間】午後7時30分～
 【場 所】中央公民館集會室

春季バドミントン大会

町バドミントン協会

【月 日】6月13日(日) 【時 間】午前9時～
 【場 所】町民体育館
 【参加資格】町内に在住・在勤・在学のかた
 【種 目】▶シングルス
 ●小学6・5・4・3年生以下の部
 ●中学生男子・女子の部
 ▶ダブルス(1人でも出場可)
 ●一般男子・女子の部
 【参加料】1人500円
 【申込締切】6月2日(水)
 【申込先】町バドミントン協会事務局 秋田昌彦 宅
 ☎387・2902

かさまつ文化フェスタ2004

月 日：5月15日(土)・16日(日)
 場 所：中央公民館 テーマ：「灯」
 ■15日(土)
 ・展示 10：00～17：00
 ・着付とお琴の合同ステージ 午後 3階ロビー
 ・お休み処 2階華道室
 ・公開読書会／本の交換会
 ■16日(日)
 ・展示 9：30～16：00
 ・ステージ 10：00～16：15(予定) 3階大ホール
 ・お休み処 2階華道室
 ・呈茶席(要呈茶券) 3階ロビー
 お問い合わせのうえ、是非ご来場ください
 一主催：笠松町文化協会一

運動場・テニスコート(6月分)

【月 日】5月25日(火)
 【時 間】午後7時30分～
 【場 所】中央公民館

町民剣道大会

町体育協会

【月 日】6月13日(日)
 【時 間】午前9時～
 【場 所】町民体育館剣道場
 【参加資格】原則として町内に在住・在勤・在学のかた
 【種 目】①一般男子の部 二段以下／三段以上
 ②一般・高校女子の部
 ③中学生男子の部
 ④中学生女子の部
 ⑤小学生の部 高学年／低学年
 【申込期限】6月11日(金)
 【申込先】町体育協会事務局(中央公民館内)

町民ゲートボール大会

町体育協会

【月 日】6月20日(日)
 【時 間】午前8時30分～
 【場 所】米野ゲートボール場
 【参加資格】町内に在住・在勤のかたで編成されたチーム
 【申込期限】6月4日(金)
 【申込先】町体育協会事務局(中央公民館内)

町民ソフトバレーボール大会

町体育協会

【月 日】6月20日(日) 【時 間】午前9時～
 【場 所】町民体育館
 【参加資格】町内に在住・在勤のかた
 【種 目】混成の部・女子の部
 【申込期限】6月11日(金)
 【申込先】町体育協会事務局(中央公民館内)
 ◎組み合わせ抽選会
 【月 日】6月16日(水)
 【時 間】午後1時30分～
 【場 所】中央公民館学習室1



自動車税納税出張窓口の開設

岐阜県自動車税事務所

【月 日】5月23日(日)
 【場所・時間】・ジャスコ柳津店 午前9時～午後5時
 ・イトーヨーカドー岐阜柳津店 午前10時～午後5時
 ※平成16年度自動車税納税通知書をご持参のうえご利用ください。
 【問合せ先】岐阜県自動車税事務所 ☎279・3781

〈お問い合わせは〉

役場 南事務所 ☎388-1111
北事務所 ☎387-6266
福祉健康センター ☎388-7171
中央公民館 (町体育協会事務局) ☎388-3231

松枝公民館 ☎387-0156
下羽栗会館 ☎387-2360
総合会館 ☎387-8432
福社会館 ☎387-1121
町社会福祉協議会 ☎387-5332

「岐阜県男女共同参画21世紀審議会」委員募集 岐阜県地域県民部男女共同参画室

【内容】県の男女共同参画施策推進についての審議
【募集人員】2人
【委員の任期】平成16年7月1日～平成18年6月30日
【応募資格】20歳以上で、県内に居住、通勤または通学しているかた（ただし、国および地方公共団体の議員並びに常勤の公務員は除く）
【応募期限】5月20日（木）（当日消印有効）
【申込方法】応募書とテーマ「男女共同参画社会の実現のために私ができること」で800字以内のレポートを郵送またはFAXで提出
※応募書は県庁地域県民部男女共同参画室、各地域振興局および各市町村にあります。
【申込・問合せ先】〒500-8570 岐阜県地域県民部男女共同参画室 FAX277・5448
※県のホームページからも応募可
<http://www.pref.gifu.jp/s11123/21singikai/kouboin.htm>



<http://www.usiwakamaru.or.jp/~kasamatu>

- 映像配信（後半3レース）実施中 -

◆初夏シリーズ

17日(月) 20日(木)
18日(火) 21日(金)
19日(水) JRA指定交流

◆清流シリーズ

31日(月)
6月1日(火) JRA指定交流 3日(木)
2日(水) JRA指定交流 4日(金)

※JRA指定交流競争

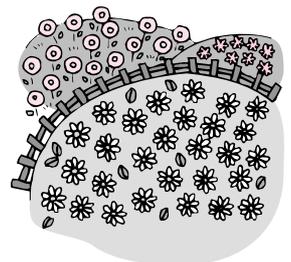
中央競馬所属ジョッキー・馬が参戦
・19日初夏特別／清流賞
・6月1日揖斐川賞
・6月2日木曾川特別／清流賞

オアシスパーク契約社員募集 (株)オアシスパーク

河川環境楽園・岐阜県営公園「世界淡水魚園」を維持・管理・運営する(株)オアシスパークでは7月14日のグランドオープン控え、契約社員を募集します。
【職種】契約社員（正社員登用制度有）
【業務内容】・公園内施設の運営
・公園の企画、開発、広報、営業活動など
【勤務時間】午前9時～午前0時30分（実働7.5時間／交替制）
【給与】月給制：13～40万円※年齢・経験等を考慮
【応募方法】履歴書（写真貼付）を郵送
※書類審査後、面接日等を連絡します。
【応募・問合せ先】〒501-6021 羽島郡川島町笠田町1564-1
(株)オアシスパーク管理課 ☎0586・89・6766

第13回「花の都ぎふ」花かざりコンクール (財)花の都ぎふ花と緑の推進センター

岐阜県および(財)花の都ぎふ花と緑の推進センターでは、「花の都ぎふ」運動を推進するため、花かざりコンクールを実施します。
【応募対象】庭、石垣、壁面、花壇、農用地などが花で飾られ快適な環境づくりと景観の美化に取り組まれている建物、施設、地域など
【部門】個人、団体、店舗および企業の各部門
【申込期限】7月9日（金）
【申込方法】応募用紙に必要事項を記入し、役場企画課へ提出
※応募用紙は役場企画課、中央公民館、松枝公民館、総合会館にあります。



【住民課（内線123）】

でお受け取りください。
（西玄関を入ってすぐ右手の部屋）
来庁の際には、「印鑑、身分を証明するもの（運転免許証・保険証など）、代金（住民票1通につき300円）」を持って役場宿日直室

分の間の希望した日時にお渡しすることが出来ます。
平日の午前8時30分～午後5時15分に役場住民課へ電話で予約をいただければ、月～金曜日は午後5時30分～9時30分、土日曜日・祝日は午前8時30分～午後9時30分の間、是非ご利用ください。

【手続方法】

平日の午前8時30分～午後5時15分に役場住民課へ電話で予約をいただければ、月～金曜日は午後5時30分～9時30分、土日曜日・祝日は午前8時30分～午後9時30分の間、是非ご利用ください。

【A】 平日仕事で役場へ行けないので、土日に住民票が欲しいのですが？

【Q】 平日仕事で役場へ行けないので、土日に住民票が欲しいのですが？

【A】 平日仕事で役場へ行けないので、土日に住民票が欲しいのですが？



このコーナーでは、日ごろ町民の皆さんから役場へ寄せられる質問・意見などを回答とともに紹介します。



保 健 (健診・予防接種・相談・教室など)

内 容	日(曜日)	受付時間	場 所	
乳児健康診査	18日(火)	13:20~14:10	福祉健康センター	
1歳6か月児健康診査	27日(木)	13:10~13:50		
3歳児健康診査	13日(木)	13:10~13:50		
ツベルクリン 反応検査	12日(水) 26日(水)	13:30~14:30		
B C G 予防接種	14日(金) 28日(金)			
ポリオ予防接種	31日(月)	9:30~11:00		
フッ化物塗布	10日(月) 11日(火) 24日(月) 31日(月)			
お誕生教室	24日(月)			13:20~14:00
にこにこ教室	13日(木)			9:20~9:30
親子歯みがき教室	7日(金)	9:30~9:40		
プレバマクラブ	14日(金)	9:50~10:00		
育児・ マタニティ相談	7日(金)	13:30~14:30		下羽栗会館
	12日(水)	10:00~11:30		第一保育所
	21日(金)	13:00~14:30	福祉健康センター	
	26日(水)	10:00~11:30	第一保育所	
ふれあいひろば (機能訓練教室)	6日(木)	13:30~15:30	福祉健康センター	
	11日(火)		福祉健康センター	
	20日(木)		福祉会館	
	25日(火)		総合会館	
健康相談	6日(木)	13:30~14:30	福祉会館	
	7日(金)		下羽栗会館	
	17日(月)		福祉会館	
	21日(金)		福祉健康センター	
献血	19日(水)	9:00~10:30	笠松刑務所	
		11:00~12:00	丸十産業㈱	
		13:00~16:00	松波総合病院	
はつらつ健診	17日(月) 18日(火) 19日(水) 21日(金)	8:45~10:45	福祉健康センター	



相 談

内 容	日(曜日)	受付時間	場 所
心配ごと相談	12日(水)	13:00~15:00	福祉会館
	19日(水)		
	26日(水)		
悩みごと相談	12日(水)	13:00~15:00	福祉会館
	19日(水)		
身体障害者相談	9日(日)	10:00~12:00	福祉会館
行政相談	在宅相談 岩田 修	行政相談委員 宮川町57 ☎ 387・3718	
		人 権 相 談	在宅相談 齋藤好子 保母勝壽 後藤 稔 杉原貴子



ご み

収 集 内 容	収 集 日
家庭用燃えるごみ	笠松地域 毎週月・木曜日 松枝・下羽栗地域 毎週火・金曜日
古紙類等	笠松地域 12日(水)、26日(水) 松枝・下羽栗地域 26日(水)
紙製容器包装	12日(水)、26日(水)
プラスチック製容器包装	各収集地区 毎週1回 祝日は収集しません
カン・ビン・ペットボトル	資源とごみのカレンダーで 燃える大型ごみ
燃える大型ごみ	資源とごみのカレンダーで 確認してください

ごみ川柳

ゴミ拾う ふとい手ほそい手 小さい手

岐阜県第6回「ごみ対策」川柳コンテスト最優秀賞作品

児童福祉週間

5月5日(祝)~11日(火)

広げよう 子育て支える 地域の輪

平成16年度「児童福祉週間」標語決定作品

今月の納税・納付

国民健康保険税 2 期 分
介護保険料 2 期 分

納期限 5月31日(月)まで

5月16日 家庭の日

▶今月のテーマ

家族みんなで、野や山に出かけ自然に親しみましょう。

給食大好き



豚肉とキャベツの辛み炒め

材料（4人分）

- 豚モモ肉200g
- キャベツ200g
- にんにく小一かけ
- 豆板醤小さじ1/2
- 赤味噌小さじ3
- 砂糖大さじ1
- 酒小さじ2
- 醤油小さじ2
- ごま油少々
- サラダ油少々
- 片栗粉小さじ2



豚肉とキャベツの辛み炒めは中華料理で「ホイコーロー」といいます。手軽にできてごはんのおかずにはピッタリです。

（作り方）

- ①豚肉は大きめの一口大に切る。
- ②キャベツは葉を一枚ずつはがし、しんのかたい部分をそぐ。
- ③たつぷりの熱湯に塩少々を加え、キャベツ、豚肉の順

にサツとゆで、キャベツは4〜5センチメートル角に切る。

④にんにくはみじん切りにし、醤油、酒、赤味噌、砂糖は、混ぜ合わせておく。

⑤中華なべにサラダ油を熱し、にんにくを加えて香りよく炒め、豆板醤、豚肉、キャベツを加えて炒める。

⑥④の調味料を加えて炒め、仕上げに水溶き片栗粉とごま油をふる。

*豆板醤（トウバンジャン）

そら豆に、小麦粉、塩、麴を加えて発酵させたみそ。マーボー豆腐やえびのチリソース煮など、ピリ辛料理に欠かせない調味料です。炒め物に使う時は熱した油を入れて、つやが出るまで火を通してから材料を加えると、臭みが消え、香りが立ちます。

なかま

木の再生・木の温もり

花木工芸



私たちの花木サークルは、身近にある古材古木等の素材探しから始まります。

素材を活かした木肌の温もり、木目の形の面白さにひかれて、丁寧な磨き、素晴らしい作品が出来上がった時の喜びを味わっています。

市販の花台置物等と違った作品作りに河合先生のご指導を受け頑張っています。

【活動日】 毎週日曜日
午後1時30分〜2時30分

【場所】 南事務所作業所

【連絡先】 田代 松原秀逸宅
(☎3387・0984)

わが家の片隅で おいしい野菜をつくる



庭の片隅やベランダで、草花を育てるように野菜を作ってみませんか。野菜は植物・草花を育てたことのある人ならどなたでも作れます。初心者のために野菜づくりの基本を分かりやすく解説した本です。

ヒサクニヒコの 恐竜図鑑



1億7000万年も続いた恐竜時代に活躍した恐竜たちのほとんどを掲載。最近発見された羽のある恐竜も登場。誰もが恐竜博士になれるコンパクトな大図鑑です。

まねっこおてんき



晴れ・雨・曇・雪・台風…。みんな「手」でまねできます。手話をつかって天気表現する楽しい絵本です。子どもと一緒に手遊びをしながら楽しめます。



本の紹介

中央公民館・松枝公民館・総合会館の図書室には、毎週新しい本が入ってきます。新着本は、ホームページの蔵書検索からご覧いただけます。

中庭の生き物から学ぶ

笠松小学校の四年生と言えは飼育活動。特にうさぎの世話は毎年、児童にとって大変楽しみな活動となっています。

昨年度四年生の度會由貴さんは、これから世話をするうさぎと出会った感動を次のように日記に表していました。

四月十日の日記より

今日、うさぎを抱きました。はじめはうさぎを抱けるかなと心配でした。うさぎを抱くとき、お腹の下に手を入れるのがドキドキしました。抱いたとき、毛

がふわふわだな、うさぎの体は温かいな、といろいろなことを思いました。抱けたときは気持ちよく、とてもうれしかったです。これから一年間、生きものの世話、掃除など、生きものが暮らしやすいよう活動していきたいです。

うさぎを初めて抱いた由貴さん。ふわふわな毛、温かい体とあった、生きている証を感じ取っています。そしてうさぎが暮らしやすいよう、掃除を頑張りたいと決意しています。

三十四匹以上のうさぎがいる中庭の掃除は、思うほど楽なものではありません。しかし一年後には、そんな苦勞を喜びとする由貴さんがいました。

三月十一日の日記より

今日の小屋の中のわら代えは大変だったけれど、うれしかったです。

最初はわらがこんなに少なくなっているとは思っていませんでした。ほうきでふんやわら、砂などを全部取りました。この作業はとても大変で、掃いても掃いてもまだふんがありました。でもうさぎのために住み心地をよくしたいと思いながら一生けん命やりました。やっとふん取りが終わり、うさぎが温かくなるようわらしきをしました。わらをしているとき、一匹のうさぎが小屋に入ってきて、うれしそうにわらを食べました。それを見て、とてもいい気持ちでした。

生き物の命の尊さを知り、気持ちよく掃除を行う姿は、笠松小学校の伝統となっています。

笠松小学校

道徳主任 福井 敏彦



教育委員会
だより

学力低下問題を考える

学校完全週5日制がスタートして早2年が過ぎました。スタートした時には、子どもの学力が低下してしまつとか

家庭で子どもたちがどう過ごしているのか分らないという心配が囁かれましたが、果たしてどうだったでしょうか。

周りの大人たちが心配するほど子どもたちは不自由を感じていないわけではありません。多くの子どもたちは自分の時間を有効に使い、趣味にいそしんだり、読書をしたり、自主勉強、スポーツをして楽しんでいます。公民館等で開催されるイベントに参加する子どももいます。家族で出かける子どももいます。それぞれがそれぞれの環境の中で充実した2日間を過ごしています。

大切なことは、このように自由になった時間を、一人ひとりの子どもたちがどのように過ごす力をつけることです。

自分が何をやりたいのか、そのために何が必要かを考え行動していく(時には思ったようにはいかない場合もあります)が、ことでその子の「生きる力」が育っていきます。その

大切な要素が「わかる授業」であり「確かな学力」です。今、学校ではさまざまな授業の工夫をしています。

その一つは、少人数・T・T等によるきめ細かな学習指導です。どの子にも理解させたい、出来るようにさせたい基礎・基本的な内容を徹底して教えています。算数・数学はどの学校でもこの形式で授業を行っています。個別指導が必要な子にも時間をかけて教えることで学習内容が理解できています。

二つめは、その子の到達度を明確にした絶対評価による通知表です。保護者としては、うちの子が今何がどの程度分かっているのかを知りたいものです。毎時間の到達度の積み上げによって記された評定所見は以前と比べて分かりやすくなっているものと思えます。

確かな学力とは単に知識の量を量るものではありません。大人になって独り立ちしたときに、その培った知識を社会で生かし「たくましく生き抜いていくための確かな学力」が真の学力です。

国民年金保険料の納付が コンビニエンスストアでも可能になりました

国民年金

【問合せ先】

岐阜南社会保険事務所

☎ 273・6161

国民年金保険料の納付窓口が、全国の銀行、郵便局、信用金庫、信用組合、農協および漁協などのほか、新たにコンビニエンスストアでも納付することができるよう拡大されました。

なお、コンビニエンスストア窓口で国民年金保険料を納付するためには、コンビニエンスストア収納用バーコードが印刷された納付書が必要です。納付場所のご案内や納付方法は納付書の裏面に記載されていますのでご確認ください。



国民年金保険料の納付は口座振替が便利です

納め忘れがなく確実です

保険料は、あなたの預金口座から毎月自動的に引き落とされますので、納め忘れがなく安心です。

手続きは簡単・無料です

口座振替依頼書を金融機関などの窓口提出してください。また、申し込み手続きや引き落としには一切手数料はかかりません。

手間と時間が省けます

毎月、窓口を訪ねて保険料を納める手間と時間がかかりません。お忙しいかたにはとても便利です。

●申込用紙は金融機関に用意してありますので、

- ①預金通帳 ②通帳印 ③年金手帳か納付書（基礎年金番号の分かるもの）
- をお持ちになって、お申し込みください。

最近、色々な分野の講習会が行われ、認定証などの資格を得られる講習会がありますよね。消防署にも、その修了証が交付される講習会があるのをご存じですか。

三角巾による応急手当法や人形を使った心肺蘇生法を3時間かけて覚えていただき、技術を習得していただく「普通救命講習会」という講習会があります。無事講習を修了された際には、「普通救命講習修了証」を発行し、これであなとも救命に携わる一員として社会に貢献できるわけです。

普通救命講習会は10人から30人程度の参加者を対象に実施します。ご希望のかたは、消防署へご連絡ください。

その他、平日時間がないかたや、自分だけでも講習を受けたいかたのために「日曜普通救命講習会」を偶数月に行っています。参加は一人か

らでもできます。定員になり次第締め切りますので電話でご確認ください。

なお、受講資格は「羽島郡内に在住・在勤」のかたとなっていますので、ご了承ください。

日時・場所・内容について詳しくは、羽島郡広域連合消防本部・警防課（☎388・1198直通）へおたずねください。

最近、色々な分野の講習会が行われ、認定証などの資格を得られる講習会がありますよね。消防署にも、その修了証が交付される講習会があるのをご存じですか。

三角巾による応急手当法や人形を使った心肺蘇生法を3時間かけて覚えていただく「普通救命講習会」という講習会があります。無事講習を修了された際には、「普通救命講習修了証」を発行し、これであなとも救命に携わる一員として社会に貢献できるわけです。

普通救命講習会は10人から30人程度の参加者を対象に実施します。ご希望のかたは、消防署へご連絡ください。

その他、平日時間がないかたや、自分だけでも講習を受けたいかたのために「日曜普通救命講習会」を偶数月に行っています。参加は一人か

らでもできます。定員になり次第締め切りますので電話でご確認ください。



救命講習会に
参加してみませんか

羽島郡広域連合
☎ 388・1195

歴史民俗資料館だより

行燈 (あんどん)

昔の主な光源は油とろうそくでした。その油を燃やして明るい世界を作り出したのが行燈で、行燈より明るいのはろうそくでした。そのもつとも明るいろうそくでさえ、現代の五ワットの電球よりずっと暗く、しかもゼいたく品でした。行燈は室町時代(一三九二年〜)より使われ始め、字のおり手に持って移動できる携行用燈火具として使

われていました。形・大きさ・用途はさまざまで、小皿に油を入れ、燈芯を浸して点火するもので、風を防ぎ照明効果を高めるために側面を障子紙で囲ったものです。形態は、凝ったものから単純なものまでありますが、大きく角形と丸形に分けられます。置行燈・掛行燈・吊行燈があり、置行燈は座敷で用い、枕元に置かれた有明行燈・読書

や手紙の読み書きに便利な書見行燈・看板として使われた掛行燈・街路灯として使われた辻行燈・人の多く集まる寄席や湯屋で用いられた八間行燈は、江戸時代には唯一の天井から吊るした照明具だったようです。使う油、つまり燈油(ともしあぶら)に広く使われたのは菜種油ですが、これは当時高価だったので、多くの人々はその半値ぐらいの魚油を使っており、臭いとすくに悩まされ、しかも暗いものでした。

資料館では、内側の枠が回転し、障子紙が貼つてある行燈や油皿・油つぼを展示しています。



行燈



油皿(右)・油つぼ(左)

笠松町歴史民俗資料館

〒 501-6052 笠松町下本町 87

☎ 388-0161 FAX 388-0185

長良川流域市町村の『川文化ネット◇ながろ』交流コーナー

9



板取村 川浦溪谷 (かおれけいこく)

高さ30m、全長7kmに及ぶ断崖の溪谷。その荘厳さとは対照的に、春には岩ツツジが咲き乱れ、夏には緑、秋には紅葉、そして冬には美しい雪景色と見事な景観をつくりだします。神秘的で静かな秘境です。

[アクセス]

- 東海北陸自動車道「美濃」IC下車、洞戸村経由で50分
- 国道256号で山口市、洞戸村経由で70分

[問合せ] 地域計画課 (☎0581・57・2111 内線59)





おなまえは

たなはし ゆうた
棚橋勇太くん (北及)

棚橋 茂・利恵さんの子



平成15年
5月8日生
牡牛座

はじめまして。勇太です。
僕は最近一人で“たっち”
ができるようになったのがあつこ
うれしいんだ～！
ちょっと自慢。へへん！
もうあぐ歩けるようになってる
んだヨ～そしたら僕のお姉ちゃん
と追いかけてこしたいお散歩し
たいあるんだよ。楽しみだな～。
僕を見かけたら声をかけてね！

おなまえは

ふかがい ゆら
深貝有来ちゃん (米野)

深貝 学・八千代さんの子



平成15年
5月29日生
双子座

私は最近つかまい
立ちができるよう
になったの。
でも支えてもらわないとダメなの…
早く一人でたっちしたいなあ。
あとね、よく公園へ行くんだけど、
まだ遊べないからあべい台の下で
見ているだけなの。
もっと大きくなったらお姉ちゃん
やお友達とあべい台をしたいなあ。

広報クイズ

次の質問にお答えください。正解者の中から抽選で3人のかたに図書券を贈呈します。

問 春の行政相談週間は5月17日から何日まで？

応募方法 官製はがきに問の答え・住所・氏名・年齢・電話番号を明記のうえ、5月末日までに秘書広報課広報クイズ係まで応募してください。

当選者は広報かさまつ7月号でお知らせします。

3月号クイズの答え

4月

当選者 片岡由美、葛谷千恵美、小崎まり (敬称略)

表紙

「サーアソーヤナー、コラ コラサーアのサ」

4月11日に開催された笠松春まつりの大行列お奴には、「郷土の伝統芸能を自分たちの手で守っていく」と笠松中学校の生徒も多数参加。今日まで練習してきた成果を発揮し、活気ある掛け声とともに台傘や小羽熊・中羽熊を投げ渡す生徒たちに、参道の観客から盛んな拍手が送られました。(関連記事6～8ページ)

まちの人口

	平成16年4月1日現在	前月比
人口	22,036人	(-)
男	10,608人	(減 13)
女	11,428人	(増 13)
世帯数	7,428世帯	(増 15)